盛岡名物

舟っこ流し花火大会

盛岡市指定無形民俗文化財

平成25年 **8月16日(金)**

岩手県盛岡市仙北1丁目

明治橋両岸

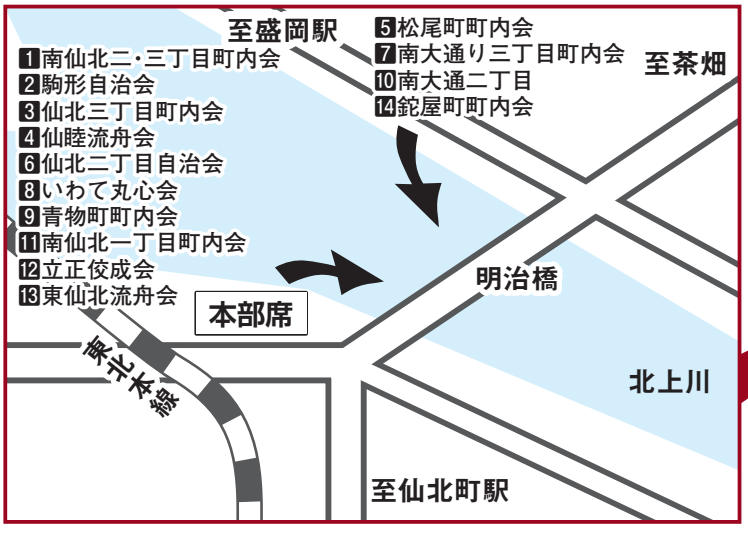
※8.16が中止の場合、8.17に順延。
8.17が中止の場合、8.18に順延（ホームページに掲載）

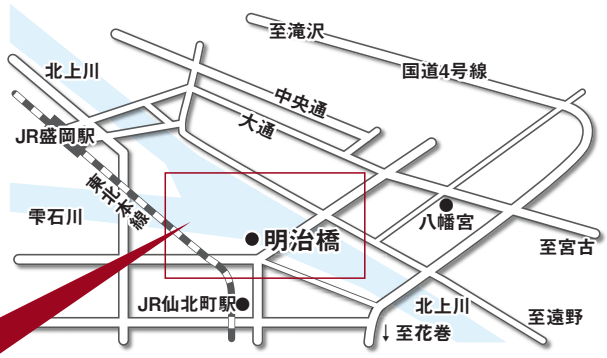
◎交通アクセス ※駐車場はありませんので公共交通をご利用ください　※会場は仮設トイレを設置
※堤防が階段状になっておりますので観覧できますが、席に限りがあります。

バス　盛岡駅前13番乗り場から乗車、会場そばの仙北町バス停下車（所要15分～）

JR東日本　仙北町駅から徒歩7分（540m）

写真：大橋政博





お問い合わせ先

盛岡舟っこ流し協賛会　電話. 070-5621-6210
http://moriokafunekkonagashi.com/

主催／盛岡舟っこ流し協賛会
協賛／盛岡市　公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

日程		
	舟っこ集合	16:00
	法　要	16:30〜17:30
	流　舟	17:30〜18:30
	灯篭流し 明治橋上流右岸（仙北町側）	18:30〜19:30
	投げ松明	18:30〜19:00
	花火大会 （3,000発）	19:00〜19:40

投げ松明

〈舟っこ流し〉

町内会が中心となって子供会なども協力して舟を作ります。舟は竜の形をしているものが多いです。お札や遺影を貼り、提灯や供物などで飾りたてます。

舟は明治橋上流に集められ、儀式のあと有志がひいて一艘ずつ川へ流され、火をつけます。燃えながら流れる舟は明治橋で燃えつきます。

舟っこ流しの始まりは、今からおよそ280年ほど前、盛岡藩四代藩主、南部行信の七女 麻久子姫が川施餓鬼（かわせがき）の大法事を行ったものとされています。

1815年に津志田遊郭の遊女たちが乗った舟が氾濫した北上川で転覆し、溺れ死んだ霊を慰めるため、舟に位牌と供物を乗せて流すようになり、以後盛んに行われるようになりました。

今では祖先の霊を送り、無病息災を祈る行事となっています。

〈投げ松明〉

盛岡舟っこ流し行事の一つとして「投げ松明（なげたいまつ）」があります。「蜂の巣」と呼ばれる麦わらであんだ籠を載せた、高さ８ｍもある竿を川原に立てます。舟っこ流しを終えた日没になると、手に松明をもって集まった子供達が、投げ入れの合図とともに点火した松明を片手でクルクルと回し、頭上の蜂の巣目がけて投げ合うのが投げ松明です。

うまく松明が命中すると、蜂の巣が天空で火の塊となって燃え上がります。燃えつきたあと竿を揺さぶると、あたかもクス玉を割ったように火の粉が折からの風にのって飛び散っていく様はまことに見事であります。

もともとは山梨県南部町が由来とされておりますが、盛岡城築城400年記念として盛岡でも行われることになった祭りです。舟っこ流しがおわり、花火大会までの間に行われます。

盛岡舟っこ流し・参加者募集

お盆の風物詩である盛岡舟っこ流しが今年も８月16日㈭に行われます。280年の伝統行事で盛岡市の無形民俗文化財に指定されております。復興を祈念する祭りとして、沿岸被災地からご戒名を受け付けしながらご供養も行います。

盛岡舟っこ流し協賛会では、舟っこの担ぎ手を募集致します。

実際に、北上川に入って頂きますので、泳ぎの出来る方に限らせて頂きます。

【募集内容】舟っこの担ぎ手　対象：高校生以上の男女

【申込方法】往復はがきに名前・住所・勤務先（または学校名・学年）・電話番号を記入して以下の宛先までお申込みください。　※ 申込みの締め切りは8月10日必着です。

〒020-0863　　盛岡市南仙北3丁目7-15
盛岡舟っこ流し協賛会　佐藤　宛　（電話070-5621-6210）

盛岡舟っこ流し　第２回写真コンテスト

《作品募集》　盛岡舟っこ流し協賛会では「盛岡舟っこ流し写真コンテスト」の作品を募集します。盛岡舟っこ流しを題材として、祭りを広く紹介出来るものとし、応募作品は舟っこ流しポスターや観光宣伝に活用いたします。

《募集要項》　【締切】2013（平成25）年９月15日
【規格】カラープリント４つ切りを原則としますなお、他の規格にも応じます
【内容】2013（平成25）年盛岡舟っこ流しで実施された行事

《受　　賞》　金賞・銀賞・佳作（いずれも若干）。副賞として賞状および粗品を進呈なお、ポスターや冊子等に活用させていただく際には撮影者名を記載（紹介）いたします

《審査の方法》　盛岡舟っこ流し協賛会、流舟各団体関係者、協賛団体で行います

《発　　表》　2013（平成25）年10月上旬をめどにホームページ上で掲載します

《そ の 他》　市内各地でのパネル展示会や仙北地区文化祭で紹介いたします

《応 募 先》　〒020−0863　岩手県盛岡市南仙北３丁目7-15　盛岡舟っこ流し協賛会　写真コンテスト　係　まで

【注意事項】　① 応募作品は未発表のものに限ります　②応募者および枚数に制限はありません　③入賞作品はネガの提供をいただくことがあります　④応募作品は返却しませんのでご了解願います　⑤コンテスト発表の著作権は当会に属します

平成25年度盛岡舟っこ流し
実施順序表

1 南仙北二・三丁目町内会
佐藤誠一／小鷹公民館

代表者名／製作・展示場所

2 駒形自治会
吉田一夫／駒形公民館

3 仙北三丁目町内会
福島昭司／仙北三丁目公民館

4 仙睦流舟会
川村豊造／盛岡信用金庫仙北町支店斜め前

5 松尾町町内会
海野伸／盛岡畜産会館脇

6 仙北二丁目自治会
藤原信行／曹洞宗長松寺境内

7 南大通三丁目町内会
千葉久子／浄土宗円光寺境内

8 いわて丸心会
藤倉広美／清雲院

9 青物町町内会
吉田隆夫／仙北一丁目（線路を挟んで駒形神社）

10 南大通二丁目
岡田誠三／臨済宗長松院境内

11 南仙北一丁目町内会
亀ヶ森英公／昭和モータース

12 立正佼成会
吉田正徳／立正佼成会内

13 東仙北流舟会
武藤俊貴／東仙北一丁目公民館

14 鉈屋町町内会
石岡昇司／大慈寺山門脇

ご先祖・物故者の供養

盛岡の送り盆の行事である舟っこ流しは、この一年の物故者の供養、そして先祖代々の供養を行う行事です。
事前に戒名を頂ければ、当日舟っこ流しにてご供養致します。
戒名の受付は各町内・団体の舟っこに直接お申込みなさるか、盛岡舟っこ流し協賛会事務局までご連絡下さい。お申込みの際は寸志をお納め下さる用お願い致します。

～ 東日本大震災でお亡くなりになった方の戒名を無料で受付しております ～

2011年の3.11東日本大震災と津波被害においては、岩手県内の死者・行方不明者が6,000名あまり、全国でみると20,000人の死者・行方不明者が発生しました。謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り致します。

盛岡舟っこ流し協賛会では、3,000名を超える被災者が盛岡に避難または新生活を送っていることに際しまして、少しでもご供養が出来ることを祈念し、昨年度の舟っこ流しで500名を超える方のご供養をさせて頂きました。

今年も引き続き東日本大震災犠牲者の霊をご供養させて頂きます。ご戒名もしくは物故者名を事務局で受付しております。送り盆の行事ですので、ご遠慮なくお申し出下さいませ。

ご戒名ははっきり正しく間違いのないようにご記入下さい

申込書

ご戒名	**氏　名** **ご住所**
御霊に対する想い	**電話番号**

※ご記入いただきました個人情報につきましては、十分に注意を払って管理し、本目的に限って使用させて頂きます

FAX申込書　**FAX 019-635-9176**　E-mail **aap09710@hkg.odn.ne.jp**

盛岡のお盆行事

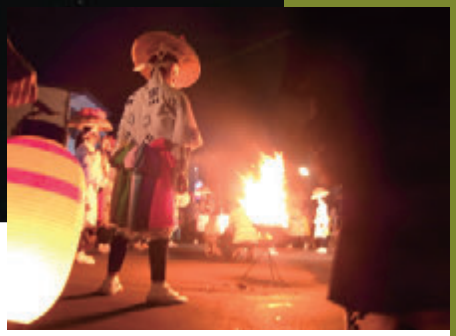
鉈屋町界隈（なたやちょう）

8.14（水）

19:00~20:15

（18:45~20:30歩行者用道路）

町家のお盆行事　14、15日 迎え火　16日 送り火



黒川さんさ踊りの門付け

盛岡市内では昔から絶えることなく先祖のお迎へお送り行事「迎え火・送り火」が行なわれてきました。特に鉈屋町界隈では、夕方暗くなると、町内で一斉に焚かれる風景を見ることができます。

8月14日には、近年途絶えた伝統さんさ踊りの門付けが、今年も黒川参差踊連中の皆さんによって復活します。

もりおか暮らし物語 MORIOKA BRAND

盛岡市街並み保存活用推進協議会　盛岡まち並み塾　鉈屋町町内会

お問い合わせ先　電話 019-624-2466　E-mail doujin@ictnet.ne.jp

URL　http://machijuku.org